

## 森の玉手箱（春）を開催して

今年度 1 回目（平成 30 年 5 月 20 日）の森の玉手箱が開催されました。会場の教室で、最初に先生からの年間と今回の活動予定の説明の後、全員が一人ずつ自己紹介です。



開会式の様子

初めて参加された方が多いですが、繰り返しご参加の方もいらっしゃいます。森は、同じ季節に訪れても同じ景色が見られる、同じ種類の花や虫に会えるとは限りません。自然界はまさに「一期一会」です。



教室を出て、森の前に広がる芝生で、動物の名前などを当てるゲームをしました。

森の前の芝生で

芝生に仰向けに寝転んで、陽射しや風、草の匂い、鳥の声を五官で感じた後、森の精霊にあいさつをして、いよいよ新緑の森に入ります。



ところどころ林床まで、陽射しの届く初夏の森、クヌギやコナラの樹々の下では、去年の秋に落ちたどんぐりからのかわいい幼木が一面に生えています。

森の中で樹々と語らう



みんな思い思いに優しく掘り出し、ポット鉢に移しました。各家庭に持ち帰り、ひと夏大切に育てて、秋の森に植樹しようと思います。

ポットに植えた  
コナラの幼木



森の中のフキの原っぱ

森の中ではいろいろな生き物にも会いました。草むらにカナヘビ、セリの葉にキアゲハの幼虫、積まれたブロックの隙間にちょっと眠そうなヒキガエル・・・。さあお待ちかね、今日の大きな目的は、「道草を食う」ことです。先生に教えてもらった様々な野草を、森を歩きながら探します。フキ、ヨモギ、ドクダミ、ユキノシタ、クズやクワの新芽など、森の中はごちそうでいっぱいです。



森を出た広場で、工作と調理の開始です。工作は、道草を食うための竹のコップ、皿、箸づくりです。大人に手伝ってもらいながら、子どもたちも一生懸命ノコギリやヤスリを使いました。

竹の食器づくり



道草料理は、2種類のお茶(アズマネザサとドクダミ)と、採れたての野草の天ぷらです。たくさん体を動かしてお腹が減ったので、天ぷらは揚げるそばからなくなってしまい、追加の野草を採りに、何回も森に入り直すほどでした。

「天ぷら早く揚がらないかな～」



「ドクダミはちょっと苦いね」「ユキノシタの天ぷらがおいしい！」などなど、みんなワクワクの体験や新しい発見に大満足の一日となりました。

ヨモギの天ぷら、とってもおいしい！